

江戸時代の常三島

平成二十六年徳島大学埋蔵文化財調査室ミニ展示

徳島大学常三島キャンパスの地下には、阿波徳島藩の武家屋敷跡「常三島遺跡」が眠っています。徳島大学埋蔵文化財調査室では1992年から計20次にわたって同遺跡の発掘調査を実施してきました。その結果、絵図や文字記録で知られる中・下級武家屋敷跡が発見され、近世考古学・日本史学に大きく貢献する成果をあげています。今回の展示では、これまでの調査研究の中から選りすぐりの成果と最近の発掘調査までを紹介いたします。

徳島大学附属図書館所蔵『御城下絵図』（同館ホームページより）

2014年 7/1（火）－9/30（火）*

*予定を繰り上げて終了することもございます。ご了承ください。

徳島大学附属図書館本館 3F

資料展示室

月～金 8:30-22:00、土・日・祝日 10:00-17:00 開館
(8・9月は月～金 8:30-17:00、土 10:00-17:00 開館、
日曜・祝日および8月13～15日休館)

〒770-8507 徳島県徳島市南常三島町 2-1

お問い合わせ先

徳島大学埋蔵文化財調査室

〒770-8503

徳島県徳島市蔵本町 2-50-1

TEL & FAX 088-633-7236



常三島遺跡フロンティア研究センター地点 石組み遺構